

2024年3月期

中間株主通信

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日

 日本調剤株式会社

▶ 会社案内

<https://www.nicho.co.jp/corporate/profile/>

▶ 株式基本情報

<https://www.nicho.co.jp/corporate/ir/stock/basic.html>

▶ 株主優待のご案内

<https://www.nicho.co.jp/corporate/ir/stock/incentives.html>

▶ 配当の状況

<https://www.nicho.co.jp/corporate/ir/stock/dividend.html>

▶ 日本調剤オンラインストア

<https://store.nicho.co.jp/>



選ばれるヘルスケアグループになるために 新長期ビジョンの策定をはじめとした大胆な変革を実施していきます。

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

政府による医療制度改革や医療版DXの促進、診療報酬改定等を通じて、日本の医療制度が大きな変革の時期を迎えています。当社グループは時代の変化に柔軟に対応するとともに質の高い医療サービスを追求し、「すべての人の『生きる』に向き合う」を使命とするヘルスケアグループとなるための進化を続けてきました。

主力である調剤薬局事業においては、かねてより「教育の日本調剤」と呼ばれるほど薬剤師への教育体制を充実させており、大学生の就職企業人気ランキングで毎年上位にランクインするなど、業界内での圧倒的なブランドを築いております。今年も「マイナビ・日経 2024年大学生対象企業人気ランキング」において「化学・薬学系」部門で第1位、ほか3項目で調剤薬局・ドラッグストア業界内トップの得票をいただきました。

また、今年1月に電子処方箋の全国での運用が開始されたことを受け、当社グループでは電子処方箋の対応薬局を全国632店舗へと拡大しており、全国での提供体制を整えております。さらに、患者さま・地域住民の皆さまへ電子処方箋のメリットをお伝えするための活動を行うなど、皆さまの利便性向上ならびに高品質な医療サービスの提供に向けた積極的に取り組みを推進しております。

当社グループでは2023年4月に長期ビジョンの見直しを行うことを公表し、現在新たな長期ビジョン及びその達成に向けた中期的な経営戦略について検討を進めております。グループ理念を中心に、当社グループの事業環境に即した成長戦略やプライム上場企業に相応しいコーポレートガバナンス、時代に応じた財務戦略等幅広い経営課題を踏まえた新しい長期ビジョンの公開を目指してまいります。

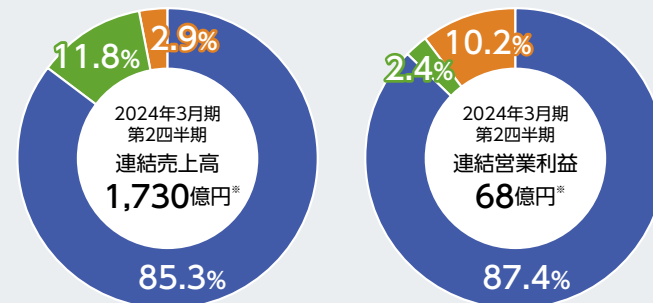
今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 社長執行役員

三津原 庸介



日本調剤グループの事業展開



● 調剤薬局事業 ● 医薬品製造販売事業 ● 医療従事者派遣・紹介事業

※連結売上高、連結営業利益は、3つの事業セグメントの合算数値です。調整額を控除していません。各数値は単位未満を切り捨て、比率については単位未満を四捨五入しております。

調剤薬局事業

● 日本調剤株式会社 ● その他調剤子会社

調剤薬局のリーディングカンパニー

| 売上高 | 営業利益 | 薬局店舗数 |
|----------|-------|--------|
| 1,476 億円 | 60 億円 | 726 店舗 |

情報提供・コンサルティング事業

● 株式会社日本医薬総合研究所

高付加価値情報・サービスの提供

医療ビッグデータを基盤に4つの事業でお客さまをサポート

- 医薬情報サービス
- 調査・研究サービス
- 広告媒体サービス
- データヘルス支援サービス

※情報提供・コンサルティング事業の業績については連結決算上、調剤薬局事業セグメントに含めております。

医薬品製造販売事業

● 日本ジェネリック株式会社 ● 長生堂製薬株式会社

フルラインジェネリックメーカー

| 売上高 | 営業利益 | 販売品目数 |
|--------|------|-----------------------|
| 204 億円 | 1 億円 | 564 品目 (一般用医薬品2品目を含む) |

医療従事者派遣・紹介事業

● 株式会社メディカルリソース

医療分野に特化した人材サービスカンパニー

| 売上高 | 営業利益 |
|-------|------|
| 49 億円 | 6 億円 |

信頼性



▶ 事業内容

<https://www.nicho.co.jp/corporate/business/>

電子処方箋 対応しています

電子処方箋とは、これまで紙で発行していた処方箋が電子化されたものです。



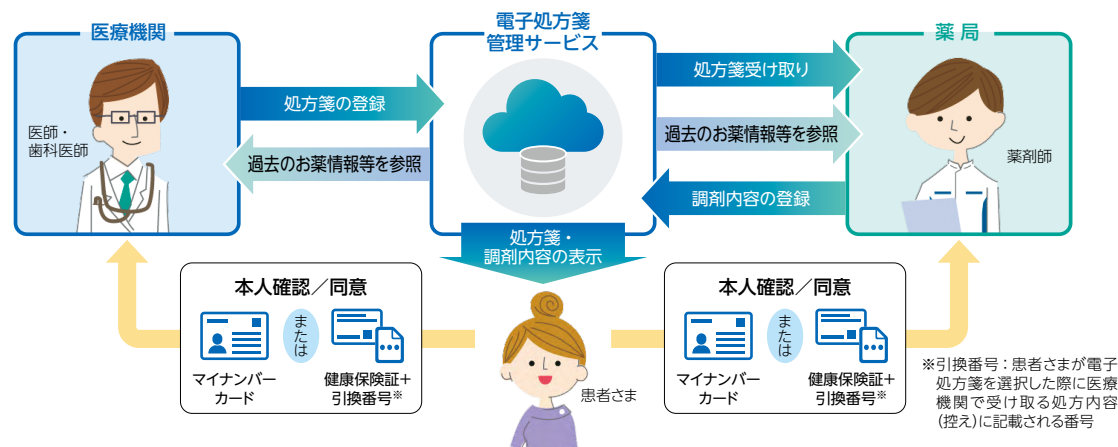
- 電子処方箋のメリット**
- 1 安心・安全な医療につながります
処方箋の紛失を防止し、誤った処方箋の発行を防ぎます。
 - 2 薬局でもお薬を受け取って便利
処方箋の送付先を指定し、薬局でもお薬を受け取れます。
 - 3 薬局でお薬を待つ時間をより短く
処方箋の送付先を指定し、薬局でもお薬を受け取れます。
- 電子処方箋はマイナンバーカードで
マイナンバーカードを提示し、処方箋の発行を受け取ります。

電子処方箋について、詳しくはこちら [日本調剤 電子処方箋](#)

電子処方箋対応を632店舗*に大幅に拡大 地域住民の皆さまへ電子処方箋のメリットをお伝えする啓発活動を強化

日本調剤では電子処方箋対応薬局を拡大し、632店舗*で対応を開始しております。あわせて、電子処方箋を利用するメリットを患者さまへお伝えるために、ポスターとリーフレットを制作し、対応薬局で掲示・配布するなど、電子処方箋の普及に向けた取り組みを実施しています。

* 2023年9月末時点。今後も順次拡大予定。



※引換番号：患者さまが電子処方箋を選択した際に医療機関で受け取る処方内容(控え)に記載される番号

「電子処方箋」とは

「電子処方箋」とは、これまで紙で発行していた処方箋が電子化されたものです。電子化された処方箋情報は、国が運営する「電子処方箋管理サービス」を通して医師・歯科医師・薬剤師間でやり取りされます。医師・歯科医師が「電子処方箋管理サービス」に処方箋情報を登録し、薬剤師はそこから処方箋情報を受け取ります。処方箋の内容や過去のお薬情報を確認した上でお薬をご用意いたします。

患者さまのメリット

1. 安心・安全な医療につながります

マイナンバーカードを健康保険証として利用し、医師・歯科医師・薬剤師が過去のお薬情報を参照することに対して同意をいただくことで、複数の医療機関・薬局をまたがる過去のお薬情報に基づいた医療を受けられるようになります。同じ成分のお薬や、飲み合わせの良くないお薬をもらってしまうことを今まで以上に防ぐことにつながります。

2. 薬局に来られなくても薬が受け取れて便利／薬局でお薬を待つ時間をより短く

紙の処方箋を持参する必要がないので、直接薬局にお越しただいでも、スマホやパソコンからオンラインでも、お好きな方法でお薬の相談・説明が受けられます。オンラインをご選択いただいた場合にはご自宅にてお薬をお受け取りいただけます。

また、日本調剤の電子お薬手帳「お薬手帳プラス」から事前に電子処方箋の引換番号を送信いただくことで、よりスムーズにお薬を受け取れます。

「お薬手帳プラス」がマイナポータルとの連携機能を拡張

新たに電子処方箋の処方情報・調剤情報を取り込むことが可能に

自社開発した電子お薬手帳「お薬手帳プラス」と政府が運営する「マイナポータル」の連携機能を拡張し、新たに電子処方箋の処方情報・調剤情報の取り込みが可能となりました。「お薬手帳プラス」は、2022年11月より薬剤情報の取り込み機能を有していましたが、このたびの連携機能拡張により、処方情報、調剤情報を含む3つ全ての情報を取り込む機能を整備しました。

これにより患者さまは、すでに連携を開始している薬剤情報とあわせて取り込むことで、複数の医療機関・薬局をまたがる過去から直近までの薬剤の情報を、「お薬手帳プラス」内で一元的に管理・確認することが可能となります。

電子お薬手帳「お薬手帳プラス」アプリについて

「お薬手帳プラス」は紙のお薬手帳の情報をスマートフォン上で管理できることに加え、日々の健康管理に役立つ安心・便利な機能が充実したアプリです。お薬の受け渡しまでの待ち時間を有効活用できる「処方箋送信機能」では、処方箋の情報を薬局へ事前送信することも可能です。

<https://portal.okusuriplus.com/>

すべての人の「生きる」に向き合うための様々な事業アプローチ

業界初* “550円(税込)均一” OTC医薬品シリーズ
～日本調剤のプライベートブランド
「5COINS PHARMA」が誕生～

※当社調べ

セルフメディケーションの推進を目的に、OTC医薬品のプライベートブランド「5COINS PHARMA(ファイブコインズファルマ)」の展開を開始しました。OTC医薬品では業界初(当社調べ)の価格均一ブランドで、解熱鎮痛薬や胃腸薬、トローチなど14品目すべてを税込550円で販売。「日本調剤オンラインストア」、全国の日本調剤の店舗、また当社グループ以外の一部薬局までもご購入いただけます。



「5COINS PHARMA」3つのポイント

- 1 全品550円! 業界初の価格均一OTC医薬品ブランド**
成分の種類や量にこだわり、薬剤師が自信を持っておすすめできる品質を確保した上で、全品550円(税込)というお手頃価格を実現。商品選びや購入後のフォローは、日本調剤の薬剤師・登録販売者が実施するので、安心してご使用いただけます。
- 2 常備薬としても使いやすい14品目をラインアップ**
全国の日本調剤での販売実績から、お客さまからのニーズの高い品目を抽出。災害時や急な体調不良のための常備薬としても活用しやすい14品目を揃えました(今後も随時品目を追加予定)。
- 3 イラスト入りで効能・効果が分かりやすいパッケージ**
シンプルな白地に効能・効果の文言とイメージイラストを大きく配置し、誰が見ても分かりやすいパッケージとしました。

日本調剤 御成門薬局へ加藤厚生労働大臣(当時)と
本田厚生労働大臣政務官(当時)が視察訪問
～マイナンバーカードの保険証利用の積極的な
活用薬局の事例として～

2021年3月に開始したマイナンバーカードによる「オンライン資格確認」のプレ運用開始時から、積極的にマイナンバーカードの保険証利用の普及・促進に取り組み、オンライン資格確認の実施を進めています。*

このような中、2023年9月6日に、加藤厚生労働大臣(当時)と本田厚生労働大臣政務官(当時)が日本調剤 御成門薬局へ視察に訪れました。視察では、日本調剤におけるマイナンバーカード保険証での「オンライン資格確認」の活用状況や利用促進へ向けた取り組みについてご説明した後、実際にマイナンバーカード保険証で受け付けし、薬剤師が患者さまの同意のもと薬剤情報などを参照して服薬指導に生かす一連の流れをご覧いただきました。

* 2023年7月時点のマイナンバーカード保険証の利用率:
全国薬局平均2.17%(当社推定)に対し、日本調剤の薬局での平均は11.37%。



オンライン資格確認で得られた情報を参照する流れをご説明する様子



左から、日本調剤 小柳利幸 取締役、日本調剤 三津原庸介 代表取締役、加藤勝信厚生労働大臣(当時)、本田顕子厚生労働大臣政務官(当時)

デリバリーサービスを
展開するWolt社と提携
～通常30分程度の処方薬の
即時配送も可能に～

法人向け即時配送プラットフォーム「Wolt Drive」を展開するWolt社とパートナーシップを締結し、東京都及び神奈川県内の一部店舗で、処方薬の即時配送サービスを開始しました。

「Wolt Drive」は通常30分程度で顧客への配送を可能とするサービスで、日本調剤ではこの活用により、オンライン診療やオンライン服薬指導を受けた患者さまはもちろん、薬局へご来局いただいた患者さまへも処方薬の即時配送が可能となりました。今後、「Wolt Drive」対応店舗を順次増やし、東京23区内の幅広いエリアを配送地域としてカバーする予定です。また、来年以降は順次対応店舗を全国に広げていく計画です。



● 医薬品製造販売 ●

ジェネリック医薬品3成分6品目を発売

日本ジェネリック(株)では、2023年6月と9月にジェネリック医薬品6品目(3成分)の販売を開始しました。



アジルサルタン錠 10mg シルデナフィル錠 20mgRE エゼアト配合錠 LD

6月及び9月発売の新製品

| | |
|---|---|
| 持続性 AT ₁ レセプターブロッカー | ●アジルサルタン錠 10mg [JG]/20mg [JG]/40mg [JG] |
| ホスホジエステラーゼ5阻害薬 | ●シルデナフィル錠 20mgRE [JG] |
| 小腸コレステロールトランスポーター阻害剤/ HMG-CoA還元酵素阻害剤配合剤 (エゼチミア/アトルバスタチンカルシウム水和物配合錠) | ●エゼアト配合錠 LD [JG]/HD [JG] |

日本ジェネリックのつくば第二工場
PTP包装廃材のマテリアルリサイクル(再生利用)を開始

これまでPTPシートのプラスチックとアルミをリサイクル可能な状態に剥離できなかったため、不要となったPTPシートは産業廃棄物として排出し焼却していました。この度、オリックス環境(株)において導入した新しい技術と設備を活用し、PTPシートのプラスチック部分とアルミ部分を剥離させ、「プラスチック部分は建材等の原料」として、「アルミ部分は(溶解後に)様々なアルミ製品」として再利用が可能となりました。

昨年度、つくば第二工場から排出されたPTP包装廃材の廃棄量は29.5トン相当であり、これらすべてをリサイクルすると、これまでの焼却処理と比較して約9割のCO₂発生量を削減する効果が見込まれます。



● 医療従事者派遣・紹介 ●

メンタルヘルス不調者の復帰アプローチのための無料産業保健セミナーを開催

(株)メディカルリソースでは8月、人事労務・健康経営ご担当者様向けに、無料産業保健セミナーをオンライン開催しました。メンタル不調者の復帰アプローチでは、想定通りいかない場面が多く見られます。また、担当者自身が他業務で忙しかったり、再発しないために何をすれば良いか分からない等の事情で、うまく対応できない場合もあります。こうしたお悩みに対し、産業医・労働衛生コンサルタントの平野井氏が、メンタルヘルス不調者における休職・復職の判断や再発防止のためのポイントを丁寧に解説しました。



産業医事業のビジネスモデル



2023年4月1日～2023年9月30日

2023

4月

日本調剤の薬剤師が編集協力した書籍『患者に合わせた処方意図がわかる! 同効薬・類似薬のトリセツ』が発売

https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/20230405_nr1/

就職希望企業調査「マイナビ・日経 2024年卒大学生対象就職企業人気ランキング」において「化学・薬学系」部門で第1位、ほか3項目で調剤薬局・ドラッグストア業界内トップに

https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/20230412_nr1/

医薬品情報WEBプラットフォーム「FINDAT」を日本調剤の薬局440店舗に拡大活用事例集をとりまとめ、質の高い薬物治療と持続可能な社会保障制度へ貢献

https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/20230417_nr1/

5月

神原記念病院と災害時における協力体制に関する協定を締結

https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/20230512_nr1/

6月

キルギス共和国における薬剤師の質向上に向けた政府関係者及び薬学教育関係者の本邦受入活動に協力

https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/20230627_nr1/

ESG指数「FTSE Blossom Japan Index」及び「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に選定

https://www.nicho.co.jp/corporate/ir/news/auto_20230619505778/pdfFile.pdf

9月

国連グローバル・コンパクトへ署名及びグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンへ加入

https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/20230901_nr1/

日本調剤グループ統合報告書2023を発行

▶ ニュースリリース

<https://www.nicho.co.jp/corporate/newsrelease/>



『患者に合わせた処方意図がわかる! 同効薬・類似薬のトリセツ』

(出版:メジカルビュー社)

日本調剤の経験豊富な薬剤師3名が本書の編集に協力しました。本書は、薬剤師が複数の処方箋を見比べた際の疑問に対して、医師が答える形式で、薬剤師が知りたい処方意図が理解できる充実の117テーマから構成。同効薬・類似薬を比較して違いを示すだけでなく、処方箋で具体的な事例を挙げながら、使い分けについて解説しています。全国の書店やネット書店、及びメジカルビュー社ホームページよりご購入いただけます。



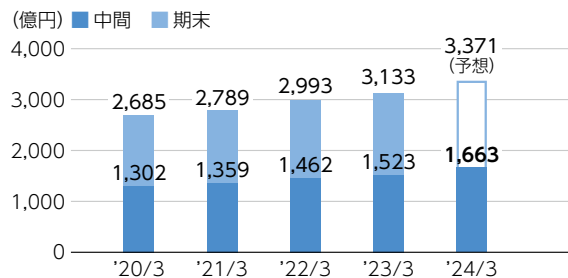
すべての人の「生きる」に向き合う
日本調剤グループの姿を解説

日本調剤グループは、「すべての人の『生きる』に向き合う」という揺るぎない使命の下、医療を軸とした事業アプローチによる社会課題解決を通じて持続可能性を追求し、すべての人の「生きる」に貢献することを目指しています。本報告書では、こうした考えに沿って行ってきた様々なステークホルダーとの活動についてご紹介しています。また、経営戦略や事業概況、環境保全や社会に配慮した活動、ガバナンス体制などの非財務情報と財務情報を統合して分かりやすく解説しています。

連結財務ハイライト

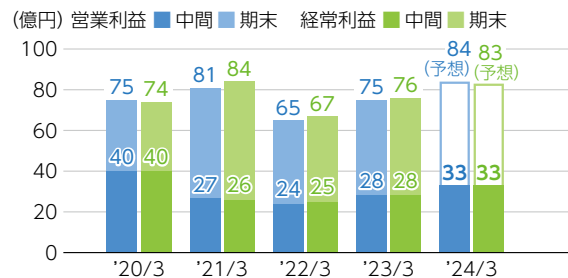
■売上高

調剤薬局事業は、前期の出店効果及び処方箋枚数の増加等により8.4%の増収。医薬品製造販売事業は、2023年4月の薬価改定や一部製品の限定出荷の影響を受ける中、既存販売品及び新規薬価収載品の販売が堅調に推移し6.7%の増収。医療従事者派遣・紹介事業は、コロナ禍で減少していた薬剤師の派遣・紹介実績が前年同期を上回ったこと等から、24.9%の増収となる。



■営業利益及び経常利益

調剤薬局事業での好調な処方箋枚数の増加、医薬品製造販売事業の黒字転換、医療従事者派遣・紹介事業における薬剤師派遣需要の拡大など各事業の健闘に加え、全社を挙げたコスト抑制策が相乗的に奏功。この結果、営業利益は前年同期比20.8%・期初計画比142.7%の増益、経常利益は同18.2%・同140.5%の増益を果たす。



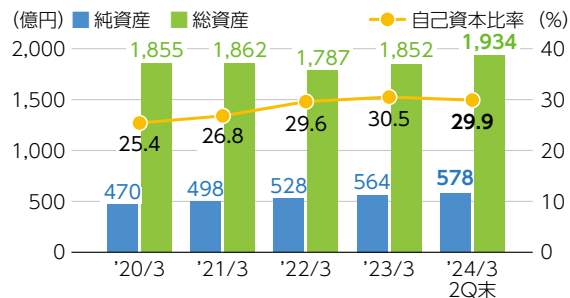
※当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

▶業績・財務

<https://www.nicho.co.jp/corporate/ir/finance.html>

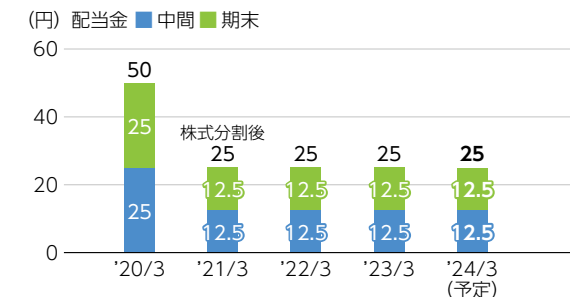
■総資産、純資産及び自己資本比率

総資産は主に商品及び製品の増加により、前期末比8,156百万円の増加。負債は主に買掛金の増加により、同6,776百万円の増加。純資産は同1,380百万円の増加。これらの結果、自己資本比率は前期末よりも0.6ポイントダウンの29.9%となる。今後も自己資本比率の改善ならびに財務安定性の向上に取り組んでいく方針。



■1株当たり配当金

中間配当は前年同期と同額の12.5円を実施。また、通期連結業績予想の上方修正を行いつつも、物価上昇等の下振れリスクによる影響を引き続き注視すべき状況であることを勘案し、期末配当は現時点で、前年同期と同額の12.5円を予定する。引き続き当社としては、安定性と継続性を重視した配当、そして機動的な資本政策の実施に努めていく方針。



日本調剤オンラインストア

新商品のご案内

全品税込み550円! 業界初*の価格均一OTC医薬品ブランド

「5COINS PHARMA」

セルフメディケーションの推進にあたり、品質と有効成分量にこだわった上で、自社プライベートブランドだからこそできるお手頃価格を実現しています。

* 当社調べ



摂食・嚥下機能が低下した方や高齢者の皆さま、介護が必要な皆さまに向けて

吉野家の介護食商品

「きざみ牛丼の具」と「やわらか牛丼の具」

摂食嚥下機能が低下した方でも食べやすく、また常温保存可能なレトルトタイプで使い勝手も良く、皆さまの食べる喜びや食欲の維持・増進につなげていただけたらと考えています。



●商品概要

| 商品名 | 吉野家のやさしいごはん® きざみ牛丼の具 | 吉野家のやさしいごはん® やわらか牛丼の具 |
|-----------------|-------------------------|--------------------------|
| ユニバーサルデザインフード区分 | 舌でつぶせる | 歯ぐきでつぶせる |
| 内容量 | 80g/袋 | 100g/袋 |
| 食塩相当量 | 0.9g/袋 | 1.2g/袋 |
| 賞味期限 | 製造日より1年半 | 製造日より1年半 |
| 日本調剤(店頭)販売価格 | 408円(税込) | 429円(税込) |

「吉野家のやさしいごはん®」の新商品 「やわらか親子丼の具」

●商品概要

| 商品名 | 吉野家のやさしいごはん® やわらか親子丼の具 |
|------------------|---------------------------|
| ユニバーサルデザインフード区分 | 容易にかめる |
| 内容量 | 140g/袋 |
| 食塩相当量 | 1.2g/袋 |
| 熱量 | 130kcal |
| 賞味期限 | 製造日より1年半 |
| 日本調剤オンラインストア販売価格 | 7袋セット 3,010円(税込) |



親子丼の鶏肉を食べやすいサイズにカットし、トロミを適度に加え、おいしさを食べやすさ両方を兼ね備えた商品となっています。

▶日本調剤オンラインストア
<https://store.nicho.co.jp/>



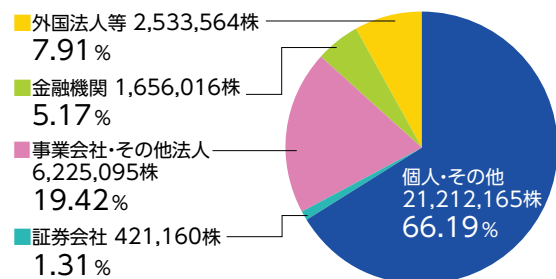
会社概要

商号 日本調剤株式会社
 設立 1980年3月
 本社所在地 〒100-6737
 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
 グラントウキョウノースタワー37階
 03-6810-0800 (代表)
 資本金 39億5,302万円
 連結売上高 3,133億円 (2023年3月期)
 従業員数 正社員 4,587名 パート他 728名
 ※パート他は8時間換算に基づく年間平均雇用
 人数であります。(2023年3月31日現在)
 事業形態 保険調剤薬局チェーンの経営

株式状況

発行可能株式総数 88,384,000株
 発行済株式の総数 32,048,000株
 株主数 13,347名

所有者別株式分布状況



(注) 1. 当社所有の自己株式2,061,635株については、個人・その他に含めております。
 2. 比率については、小数点第3位を四捨五入しております。

役員

代表取締役社長 三津原 庸介 取締役* 島山 信之
 常務取締役 笠井 直人 取締役* 東 葎 新
 取締役 小柳 利幸 取締役* 原田 史緒
 取締役 小城 和紀
 取締役 藤本 佳久
 取締役 井上 祐弘
 取締役 恩地 祥光
 取締役 野間 幹晴

(注) 1. 取締役の恩地 祥光、野間 幹晴、東葎 新、原田 史緒は社外取締役であります。
 2. ※は監査等委員であります。

大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(株) | 出資比率(%) |
|---|-----------|---------|
| 三津原 庸介 | 6,640,000 | 22.14 |
| 三津原 博 | 4,800,000 | 16.01 |
| 株式会社三津原興産 | 3,600,000 | 12.01 |
| 合同会社マックスプランニング | 2,240,000 | 7.47 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,322,400 | 4.41 |
| 日本調剤従業員持株会 | 991,100 | 3.31 |
| 三津原 陽子 | 800,000 | 2.67 |
| 姚 恵子 | 538,600 | 1.80 |
| JP JPMSE LUX RE UBS AG LONDON BRANCH EQ CO | 157,200 | 0.52 |
| UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT | 148,956 | 0.50 |

(注) 1. 出資比率は、自己株式2,061,635株を控除して計算しております。
 2. 出資比率については、小数点第3位を四捨五入しております。

配当の状況

| | 2023年3月期 | 2024年3月期(予想) |
|------|----------|--------------|
| 中間配当 | 12.50円 | 12.50円 |
| 期末配当 | 12.50円 | 12.50円 |
| 配当性向 | 16.8% | 17.4% |

株主優待のご案内

毎年9月30日、3月31日の基準日に当社株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上を保有されている株主さまを対象に、「日本調剤オンラインストア」で使える優待券を以下のとおり年2回贈呈いたします。

| 保有株式数 | 優待内容(年2回) |
|------------------|--|
| 100株以上 500株未満 | 当社オンラインストア 優待券 1,500円分 (1,500円分の優待券1枚) 年間優待額: 3,000円 |
| 500株以上 | 当社オンラインストア 優待券 7,500円分 (1,500円分の優待券5枚) 年間優待額: 15,000円 |